

## ワークシフトプレイス Season2-1・開催報告

■テーマ：問いを解決する対話を始めよう～ステップ1：関係性作り～

■日時：2013年10月22日(火)19:00～21:00

■場所：ガーデンキッチン新宿御苑

■当日の流れ

### 1・自己紹介をしよう！

まずは、参加者同士の自己紹介からスタート！近くの方とグループになって頂き、下記の2つのテーマを基に、お話していただきました。

お題①ワークシフトプレイスへ参加した目的は？

お題②・GOOD and NEW「最近、職場等の環境で起こった、新しいことや良かったことは？」

### 2・関係性作り①～未来志向を体験しよう～

自己紹介の後は、本格的に今回のテーマ「関係性作り」に入ります。

関係性作りでポイントとなるのは、「対話」であり、この対話に欠かせないのが、「未来志向＝現在の固定観念をとり払う」という思考法。

ということで、未来志向を使い「2025年の働き方」について、参加メンバー同士で対話して頂きました！固定観念を取り払って未来を考えたら、どんな働き方が想像できたのでしょうか…？

#### まず過去へ！

未来志向で考えられる柔軟な頭になるため、「過去を一度思い出す」ステップを踏みます。

なぜなら、2001年の頃のあなたから見た、現在(2013年)の働き方は「ありえない」ことの連続だからです。この「ありえないことの連続」が現実となっている事実気付く、それが本セクションの狙いです。

お題①「2001年(12年前)の働き方から見て、2013年の働き方は何が変わった？」

- ・PC環境は変わってないけど、モバイルの受信速度が抜群に速くなった！
- ・情報取るための使用時間が全く違う！

#### そして未来へ！

——2001年のあなたは、現在(2013年)の働き方を予測していたでしょうか。

そう考えると、2013年のあなたは、今あるデータから2025年を予測できると言えるでしょうか？——

2025年の未来が予測不可能であるならば、未来の働き方について、自由に考えてみよう！ということで、「こんな働き方あり得ない！」という考えは一旦捨て、「こんな働き方あったらいいな♪」で楽しく、未来の働き方を想像していただきました♪

## お題②「2025年（12年後）の働き方はどう変わる…？」

- ・ネットワーク環境整う。
- ・仕事をクラウドに投げて、スケジュールが空いている人が行い、報酬もネット上で行う。
- ・知らないところで仕事が進む、得意な人が仕事を進める。→「ラク」でいい！
- ・場所はどこでもOK
- ・「会社に属す」ということが必要でなくなる。

——2025年の「こうあったらいいな！」な働き方の未来を実現するために、  
「私たちは今、何をすべきでしょうか？」これが未来志向なのです！BY 絵美子先生——



### ③・関係性作り②～あなたの作りたいフューチャーセンターは？～

現在（2013年）ご自身が抱えている働き方の課題について、  
「働き方を変えたいと思っているけれど、どう変えていったらいいの…？」  
「こうゆう働き方したい！そのためにどうしたらいいかな…？」  
「1、2年後の近い将来、自分の置かれている環境を何とかチェンジしたい！」などなど…  
抱えている課題の時間軸、大きさ、視点はさまざまです。

そこで！A4の紙を用意&カラーペンを用意して…

- ①「あなたがどんな働き方をこれからしたいか？どんな課題を克服したいか？」という問いかけに対し、自分に一番近い「課題」を思い浮かべる。
- ②その課題を参加者メンバーで一緒に考えられるように、「問いの形式」に変える。

この2つのプロセスを経て、働き方の課題を「問い」にして書き出させていただきました。

### ④・関係性作り③～マグネットテーブル～

続いては、書き出した「問い」を持って、一緒に考える仲間を探します！

マグネットテーブルという技法を使い、3人1組の一緒に「問い」を考えるチーム作りを行って頂きました。  
マグネットテーブルのポイントは下記の3点です！

## <マグネットテーブルにおける、チーム作りの3つのポイント>

- ①テーマが似ている
- ②シナジー効果が生まれそう！「掛け合わせたらいいものが出来そう」
- ③自分の「問い」を捨ててもいいから、相手のテーマで考えたい！



## 5・関係性作り④～共感ポイントを探そう！～

チームを作った後は、じっくりと「対話」を重ねる時間を取り、自分の問い(背景も含め)を「告白」する時間を設け、自分の問いと相手の問いの「共感ポイント」を探していただきました。

この対話を行うことで、あなたが困っていることが、チームになった人も同じように困っているかもしれないし、解決方法を既に知っているかもしれない。そんな気づきを得ることができるのです！



## 6・クロージング～ご参加者のVOICE～

- ・話せる場が最初からできていること、皆様が建設的な意見なことにびっくりしました！
- ・このような場にくると、ボンボンと面白いアイデアが生まれる  
例えば…「将来的にGPSを使って全員どこにいるか情報が把握できていれば、場所の問題が解決できるかもしれない。場所の問題も何もかもハイテクノロジー活用しながら、(昔の)1対1のコミュニケーションが活発化ということもあり得るかも！」

- ・場所を問わず働く、意外と考えている方が多い！
- ・自由に考えられて興奮しました！
- ・同じ悩みを抱えている人が多いなと感じた
- ・説明が聞けたから、続けて参加できそう！
- ・生き返りました！・楽しかったです！

## 7・次回のWSPは…？

ここまで、読み進めて頂き、誠にありがとうございます。

今回は、「問いの深堀」 & 「思いを叶えるフューチャーセンターを作るとしたらどんなだろう？」を、対話を深め、多様性を使いながら、知識集約をしていきます。（オープンスペーステクノロジーという手法を使います！）

是非、また続けてご参加頂き、

自分のためにこのワークシフトプレイスを使って頂ければ幸いです。

今後ともどうぞ、よろしくお願い致します！

## ☆おまけ～対話、多様性、未来志向～

### ①「対話」

そもそも、ワークシフトプレイスのように「話を聞いてくれる場」が会社外、同僚以外にある。

話ができる仲間が、仲の良いメンバー以外にいる！この点に気付いて頂けたのではないのでしょうか。

### ②「多様性」

対話で「なるほどな」と共感する、そうすることで仲間が増えます！

さらに、「多様性」でアイデアの方向性、幅がもっと広がります！

### ③「未来志向」

過去こうだったから、未来もこうだよねっていう話はしたくないですよね？

未来で考える「未来志向」が大切なのです。